

中国古典舞踊の「身韻」が舞踊運動に及ぼす影響
・コンテンポラリーダンスのダンサーを対象に・

CHEN YITING (筑波大学)

1、背景および目的

コンテンポラリーダンスは自由と開放性を特徴とし、個々の創造的表現を重視し、多様な技術・文化的影響を取り入れ現在に至る。一方で、その訓練体系は発祥の背景からも西洋由来の方法論が主流であり、バレエ、モダンダンス、ヒップホップ、Gagaなどが中心となっている(乗越, 2024)。

近年、アジアの舞踊団体は自国の伝統的身体文化に着目し、それをコンテンポラリーダンスの訓練や創作に取り入れる試みが進んでいる。台湾の雲門舞集(Cloud Gate Dance Theatre)は太極拳や武術を取り入れ、作品に東洋的身体哲学を色濃く表現している。しかし、こうした実践が舞踊運動に及ぼす影響は、体系的かつ実証的な研究が不足しているのが現状である。

この背景を踏まえ、本研究は中国古典舞踊における中核的訓練法である「身韻」に焦点を当てる。金(2022)は「身韻」を「舞踊感通学」と捉え、感性的かつ律動的な身体運動を通して意味を伝え、瞬時に観者の心を動かすものと位置づけている。しかし、「身韻」の応用は中国古典舞踊の領域に限定されており、コンテンポラリーダンスの訓練における価値は十分に検証されていない。

本研究の目的は、「身韻」訓練をコンテンポラリーダンスの日常訓練に導入し、どのような影響をもたらすかを実験的に検証することにある。また、コンテンポラリーダンスにおける訓練方法の多様化に向けた実証的根拠を提示することを目指す。

2、「身韻」(シェンユン)とは

「身韻」は、中国古典舞踊における中核的訓練方法である。中国の伝統的な戯曲(京劇等)や武術といった身体文化の身体表現の型と体の使い方を抽出・整理することに由来する。そして、北京舞踊学院を代表とする高等舞踊教育の現場において、徐々に体系化されていった。

訓練内容は素手による動きと小道具を用いる動きを含まれ、呼吸と動作の調和を基盤としつつ、円運動、力の強弱や律動的な表現を重視される。

3、研究方法

本研究では、対照実験、アンケート調査、専門家による評価を組み合わせた方法を用いた。対象は、コンテンポラリーダンスの経験を有する大学生ダンサー12名を「身韻群」(6名)と「対照群」

(6名)に分けた。身韻群は通常の訓練に加え、「身韻」訓練(北京舞踊学院の「身韻巡礼」教材

における呼吸法、手の動き、上肢、歩行などを含む7つのエクササイズを6週間・全10回)を行い、対照群は通常の訓練のみを実施した。

実験は「前測－訓練介入－後測」というデザインで実施し、すべての参加者は実験開始前と終了後に、約1分間の同一のコンテンポラリーダンスのコンビネーションを演じ、その映像を記録した。その後、10名の舞踊専門家によるブラインド評価を実施した。17項目の項目を設定し、合計24本の動画について採点を行った。また、12名の参加者には、前後測の段階でアンケート調査を実施した。

4、結果と考察

本研究の結果、「身韻群」は「対照群」に比べ多くの評価項目で得点が向上した。特に「全身のコーディネーション」と「動きの爆発力」において顕著な改善が見られ、効果量(Hedges' g)も高値を示し、「身韻」が参加者の身体全体の統合的能力やエネルギー表現に有効であることが示唆された。さらに「スピードのコントロール」「体幹のコントロール」「背中の運用」「動作のリズム処理」「動きのつながり」「質感の表現」「空間の表現」でも中程度の効果が確認され、「身韻」が身体各部のコントロール、動きの連続性や表現の多層性に寄与する可能性が示された。

一方、「上半身のコントロール」「下半身のコントロール」「呼吸の運用」「目線」「表情」では大きな差が見られず、訓練期間の短さが影響したと考えられる。

アンケート調査では、多くの参加者が「呼吸と動きの関係をより意識できた」「動きが滑らかになった」「重心を感じやすくなった」と回答し、一部は「感情に入りやすくなり、手や目線の細部に注意を向けられるようになった」と述べた。これは専門家評価で示された一部の改善と一致した。

以上より、「身韻」はコンテンポラリーダンスのダンサーに対し、身体のコントロール、コーディネーション、爆発力、さらには舞踊意識や表現力を中心に有効な影響を及ぼすことが明らかになった。また、東洋的身体観に基づく訓練が、既存のトレーニング体系に新たな視点を与える可能性があることが示唆された。しかし、本研究は対象者数と訓練期間に制限があり、今後はより長期的かつ多角的な検証が求められる。

5、参考文献

乗越たかお(2024) 舞台の見方がまるごとわかる 実例解説! コンテンポラリー・ダンス入門. 新書館: 東京. p. 2.

金浩. (2022) 中国古典舞踊における唐満成の「身韻」論. 民族芸術研究, (04), 88-96.